

ともか^木とともに

—ドキュメント2017三郷市
議選—短歌100首

大津留公彦

ともかとともに
—ドキュメント 2017 三郷
市議選—短歌 100 首



まえがき

この短歌 100 首は 2017 年 7 月に行われた三郷市議選に立候補した深川ともかさんの選挙戦のドキュメントである。

目次はこうである。

梅雨の晴れ間の棟毎宣伝 15 首

闘いは 12 首

若者と 16 首

闘いの火蓋 8 首

選挙カーの運転 7 首

個人演説会 10 首

若者選挙 14 首

当選 7 首

祝勝会 11 首

Blog や facebook や twitter に送ったこの歌たちが選挙戦にどの位の意味があったかは分からない。しかしこうやって形に残った事になにがしかの意味があると思う。

多分この闘いは歌にも登場する玄間太郎氏によって詩集にも纏められるであろう。

三郷の革新の歴史の一頁を作った闘いであった事が文学の形で残る事を喜びに思います。

2017 年 8 月

大津留公彦

梅雨の晴れ間の棟毎宣伝 15 首

市議候補

誰にするかと数カ月

三十五歳のともかに決まる

高齢化する地域なり

得難きは

貴方のような人材である

都議選は終わりで

世間は落ち着きぬ

三郷市議選これから猛る

暑い中きみは闘い始めたり

日焼けどめせず

帽子もせずに

紹介し棟毎に五分間訴える

深川ともかは

自分の言葉で

二団地の

棟毎宣伝終わったり

話を聞いたと伝え聞くなり

梅雨の晴れ間

君の新しき訴えを

ベランダに居て聴き続ける人

貴重なる晴れ間

君は練り歩く

都議選の前進まず語りつつ

新しき轍と話を

道連れに

団地一棟づつに訴う

訪れれば犬の歓迎ありたるが

赤旗購読の

話となりぬ

すずしげな轍

事務所の前にあり

「頑張って！」の声車より来る

パソコンに演説原稿

書く君の姿は

少女というが相応し

紫陽花は色を変えあり

立葵は背を伸ばしおり

君は訴う

ポスターが街に

目立つようになり

新人候補の軽やかに佇つ

闘いに勇躍踊り出せし君

梅雨明けの頃

きっと輝く



闘いは 12 首

闘いは
外ばかりではないだろう
日々刻々の内なる闘い

闘いは
人と人とを繋ぐ事
昨日の他人が今日友となる

闘いは
正義と不正義の間にあり
愛と嫌悪の間にもある

闘いは
今ベストを尽くすこと
いずれその内などはあり得ぬ

闘いは
少女が闘士となる過程
市議選闘う君三十五歳

闘いは
そんなに難しいことではない
「いいね」ボタンを押すも闘い

闘いは
そんなに易しいことでもない
「生活」というバランスの上

闘いは
長くしっかりあるべきもの
我が闘いはもうすぐ五十年

闘いは

はがねのように真っ直ぐに
民の願いを突きつけること

闘いは
勝つべし夢は叶うべし
明日百合の花満開となれ

闘いは
いつも真夏に行われ
いつも勝利を手にして来たり

闘いは
勝たねばならぬ
闘いは運動量と質との掛け算



若者と 16 首

IC レコーダーの
声を流して回るなり
玄間太郎と語りて二時間

三郷には田圃や畑の多きこと
宣伝カーを走らせて知る

新三郷に近い
マンションで訴える
イケア・コストコの大看板見て

老人会会長宅にも
ポスター二枚貼らせて貰う
県道沿いに

江戸川の土手から
見える家塀に
ともかの二連ポスターを貼る

「幸福の科学」のポスターの
横に貼る
若きともかの元気印を

「テツ&トモ」と
ともか名付けぬ
塩川鉄也二連ポスター

平和行進終われば
街頭演説会
今年の夏の三郷はあつい

手を繋ぐ
田村智子と四候補
夏の夕陽の照らせる中に

スーパーから駅へと向けて緑陰に
「深川ともか」を
押し出して行く

若者が若者を支援に
来る事務所
一気に若やぎ賑やかとなる

若者とスーパー前で訴えれば
アイスクャンデー
一箱差し入れ

一列に桜の通りを練り歩く
前に若者 後ろに熟年

挨拶に回れば
新旧理事長の
声掛けくれる若き候補に

電話かけせし熟年と
ハンドマイク宣伝せし若者と
カレーを頬張る

若者と駅に並びて訴える
より良き三郷に 若い力をと



闘いの火蓋 8 首



一週間の闘いの火蓋は切られたり
梅雨まだ明けぬも
暑き三郷に

様々な善意集まり出陣す
集まれぬ者の
それも含めて

ポスター貼り遅れに遅れ
出陣式の後となれども
手分けして急ぐ

仕事なれば応援に行くも
ままならず
善意の呟き集めて呟く

FACEBOOK、TWITTER、BLOG と
笑顔あり
深川ともかの応援サイト

この街にこれからも
長く住む以上
住民福祉の輝く街に

オーロラビジョン
やめて福祉に回しましょう
練習場には全く不要

七月二十三日に笑いましょう
汗かきましょう
今日も明日も明後日も



選挙カーの運転 7首

投票権ないけれどもとアジア人
友達にいうと家族でスナッフ



応援が県下各地から集まりぬ
斎藤くんを筆頭として

選挙カーの運転手は毎日二人要る
吾は空回しの運転手なり

空回しの運転手担当の二日間
三郷市早稲田広からずなり

公園毎に車を停めて演説す
ともかの話はますます冴える

酷暑なる早稲田団地の緑陰に
候補者カーをゆっくり走らす

演説会の呼び込みカーと変じたり
スピード上げて会場目指す

個人演説会 10首

駅に立てば団地の人が通りかかる
「誰に入れればいい？」
などと言いつつ

棟毎にベランダ演説会を君はする
わが紹介の
あとに続けて

ベランダで
聴き続けくれる人のあり
あまりの暑さに心配になる

深川ともかほとぼしる汗を
滴らせみ三郷のまちに
大きく手を振る

素晴らしい候補者を得て
闘いは
当選に向け動き出したり

くじ引きで当選したと
いう君の話のぐっと
引きつけるもの

匿名の君の記事あり
闘いに勝ちたる
若きアルバイト社員の

我が発言
一分にまとめ最後には
短歌一首を君に捧げし

声掛けしもかけぬ人らも集まりぬ

演説会は先客万来

個人演説会七十人で成功す
病院長も若者も立つ

9条を守りこい

深川 ともか 候補(35) 新

私は十数年前、イラク戦争に反対する集會に誘われて参加し、戦争で犠牲になるのは、多くが罪のない一般の市民だと知り、胸を痛めました。

二度と戦争をしないと誓った憲法9条を守りたいと思い、戦前から戦争反対を叫びてきた国民の声を無視する政治に、やりきれない怒りを感じていました。「おかしいことを『おかしい』と言えなくなるのは嫌だ」との思いで、(市議選への立候補を)決意しました。

三郷市は、大型開発が進む一方で、中小業者が減っています。子どもやお年寄りに優しく、若者が輝くまちづくりをめざします。

国会前にも足を運び、戦争法などに反対の声をあげましたが、



若者選挙 14 首

若者が十人近くも並び立つ
三郷駅北口に未来を見たり

若者の銀輪作戦行われ
早稲田の薫風戦ぎて居りしか

友達を待っているという
若者と話していしは
住み続けられる街

「わたくしは」と
リレートークが続くなり
市会議員の名乗りが多し

Facebook の仲間が増えし選挙なり
若者選挙と言え言えるか

「深川ともか・三十五歳・独身」
と叫べば最後は余計と
ともかが返す

駅降りて病院勤務のあの人の
朝の行事は
ともかのアップ

撮りだめしともかの写真を頂きて
一気ににぎやか
勝手連サイト

この選挙
サイトは十七あるという
深川ともか勝手連も一つ

選挙事務所は

工場の二階であるだけに
のぼって来れる人は健脚

この夏のこの闘いをあとあとで
歴史的選挙と
言うひともあれ

あと少し、あと一歩と
声掛ける
深川ともか当選をせよ！

選挙戦
残り二日となりてまだ
声の届かぬ人たちのいる

闘いはこのように始まり
闘いはこのように終わる
候補は違えど

仕事しつつ応援するは限度あり
ネット選挙に
限度はなくて

当選 7首



十一時半のスマホ速報
読みあげる
「深川ともか千八百票！」

四人目の票数気にし
市委員会に集まりてくる
人ら候補ら

冗談出て万歳の位置
定まらずも
「四人全員当選万歳！」

市委員会の二階に人は
あふれたり
クーラーは飛び床はきしみて

万歳の動画を撮りて投稿す
あっという間に
「いいね」が続く

「三郷市議選共産四人全員当選」
のみの facebook 記事に
100 を超える「いいね」が付きぬ

祝勝会 11首



二千を超える票を取りたる
三十五歳
我が人生の誇りとなりたり

キーワードは
「若さ」「実績」「こころざし」
丸くまとまり
勝利となりぬ

苗村さんの
築き上げたる地盤あり
ちょっとやさそつとで揺るがぬ地盤



百人には私の声が届いたろう
選挙ハガキの
名前も見たらう

これほどに選挙に関わった事はない
勝利のビールは
格別美味い

大家さんの
ノンアルコールビールの差入は
ギンギンに冷え今並べられ

闘いは勝利と共に終わったり
善意の集まる
工場の二階に

祝杯をあげる
倉庫の二階には
クーラーは無く善意が溢れる

ともかさんの
家族から届く花束は大二つなり
持ち切れずなり

悩み事無い事もないが
この勝利あつというまに
吹きとぼしたり

「闘いはこれから」という
われも同じ
じっくりしっかり前に向かおう



ともかさんの
貰いし花束の御裾分けに
我が家の玄関明るくなりぬ



あとがき

長年短歌を作って来ましたが一つの選挙で100首も作ったのは初めてです。
それくらい関わりを持ったという事でしょう。
応援演説の最後は短歌でしめるというのが私の恒例で、演説会での最後はこの歌でした。

闘いに勇躍踊り出せし君
梅雨明けの頃
きっと輝く

梅雨が明けてともかが輝くことが出来て本当に良かった。
市議としての闘いはこれからです。
4年間みなとともかさんと一緒に闘っていくことを宣言してあとがきとします。

2017年8月
三郷市早稲田の蝉の鳴く自宅にて
大津留公彦